富士見だより

HP の QR コード
羽村市立富士見小学校
校長　市川　晃司
令和８年１０月２９日 第７号
TEL：０４２（５５４）６４４９
FAX：０４２（５７８）１５２２

自分たちで創る運動会　～「夢」と「感動」を大切に～

１０月１７（土）に運動会を開催したところ、早朝より多くの御来賓・保護者・地域の皆様に御来校いただきました。児童は温かい拍手と声援を受け、自分の力を十分に発揮できたと思います。保護者の皆様には運動会当日に向けて、体調管理や衣装の準備などの御協力をいただきました。また、ＰＴＡ・おやじ会・スマイリーサポートの皆様には、受付や巡回など後方から支えていただきました。心より御礼申し上げます。

今年度は、縦割り班活動をさらに充実させるために、年度当初に赤白の組分けと連動させた縦割り班を組織しました。５年生を先頭にした入場行進も初めての試みでしたがいかがだったでしょうか。



6年生表現「勇往邁進　～夢・感動を全員に～」の練習風景
実行委員が前に立ち、振り返りを行っています。

今年度の運動会は、昨年度同様、児童の主体性を大切にしながら「児童が創り上げる運動会」になるよう教職員に伝えるとともに、児童にも全校朝会で直接話をしました。「児童が創り上げる」とは、どのようなことでしょうか。私は以下のように捉えています。

> 児童が目標に向かって課題を見いだし、課題の解決のために自分で深く考えたり、友達と協力したりしながら試行錯誤し、よりよい結果や完成を目指すこと。

つまり、教師が児童に一方的に指示をし、児童は指示されたことを忠実に守って行うような営みではないということです。このことにより、児童には「主体性」や「問題解決能力」、「自信と達成感」等が育まれると考えます。一方で、教師が児童に任せきりではこれらの力を身に付けることはできません。児童の実態や発達段階に応じて、教師の適切な指導が必要になります。児童が困ったときにヒントを出したり、安全に見守ったりする「伴走者（サポート役）」になることが求められます。

運動会の練習では、表現の踊り方を児童に考えさせたり、グループになって踊り方を教え合ったりする場面が見られました。学年種目では、どうしたら相手より上回ることができるか、何度も作戦を立てる場面が見られました。そこには、常に教師の温かいサポートがありました。

「児童が創り上げる」・・・児童が人生をよりよく生きる基盤になるように今後の教育活動においても大切にしてまいります。

１２月５日（土）は、芸術発表会です。昨年度の音楽発表会に展覧会を加えた新たな行事です。運動会の練習と並行して音楽や図工の授業を中心に練習や制作を進めています。どのような「夢」や「感動」を味わえるか、今から楽しみです。御来校を心からお待ちしています。